



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

Official TEST Report 2010/3/25～26 FUJI 2nd Official test

フォーミュラ・ニッポン 2010 シーズン前最後となる、第 2 回公式テスト富士。

2010 年度 1 号車をドライブする 09 年フォーミュラニッポンチャンピオン ロイック・デュバル選手は、DOCOMO TEAM DANDELION RACING のレーシングスーツに身を包み、満を持しての登場。在籍二年目の伊沢選手とともに、開幕戦へ向けて最終調整に入った。

ところが、この貴重なテストの機会は、冬のような雨で幕を開けた。

多岐にわたるテストプログラムを準備したエンジニアであったが、悪天候により 1 日目のテスト第 1 セッションは中止となってしまった。午後の第 2 セッションは開催されたものの、雨量は安定せず気温も低いコンディション。それでも 2 台はシステムチェックや基本テストプログラムを確認するためにコースイン。伊沢選手は順調にデータを取得したが、デュバル選手は雨に足をすくわれスピン、マシンを大破しテスト終了を余儀なくされた。

天候が回復する予報であった 2 日目も、気温 4 度、路面温度 2 度、みぞれ混じりの雨と言うコンディション。2 台は雨天の中、セットアップの確認と熟成を主眼に精力的に周回を行った。

午後になり路面は徐々に好転、セッション後半ではドライタイヤでの走行も出来、伊沢選手は総合 2 番手、デュバル選手は総合 8 番手でテストを終えた。

1: ロイック デュバル 選手

私の新たなチャレンジをやっとスタートでき心から嬉しく、興奮しています。

チームもマシンも、感触は非常に良かったです。特に雨のセットアップは満足できるものでした。ただドライ路面ではややリアの安定感に不満があり、ここはさらに詰めるべき点です。初日に車体を壊してしまいましたが、チームの適確で献身的な作業で、テストを有意義に消化できました。

これまで私は優勝だけを追求する哲学で戦ってきました。この姿勢を変えず、シリーズタイトルを狙います。

2: 伊沢拓也 選手

テストには向かない状況でしたが、雨の路面もドライ路面も良い感触で終える事ができました。チームメイトとなる 昨年チャンピオンのデュバル選手が居ることも、非常にいい刺激になっています。チャンピオンとして尊敬しているし、チームメイトであるしライバルでもあり、負けるつもりもありません。

結果 総合 2 位と言うポジションは、スタートとしては良いものの、なぜ自分が 2 位なのか、トップではないのか、と結果にこだわって、テストデータを徹底解析し、鈴鹿に臨みます。